



ポートメッセなごやで開催された「ウェルフェア2017」

ご挨拶

公益社団法人 愛知県理学療法士会 代表理事 鳥山 喜之

公益事業活動紹介

- 第20回国際福祉健康産業展 ウェルフェア2017
- 愛知県介護予防推進キャンペーン2017.7.16
- こどもの福祉機器展 チャレンジドフェア2017 ご報告/2018 ご案内
- 地域リハビリテーション推進事業 ● スポーツ傷害予防教室開催
- 愛知県高校野球連盟支援事業

理学療法って知っていますか?

理学療法って何だろう?

第27回 愛知県理学療法学会大会

テーマ:理学療法の未来への課題と道程
～ 理学療法の本質と未来予想図partII ～



ピー太君とピー子ちゃん
※公益社団法人 愛知県理学療法士会
マスコット

ご挨拶



公益社団法人
愛知県理学療法士会
代表理事 鳥山 喜之

わが国は少子高齢化という深刻な問題で、2010年の日本の総人口1億2,806万人で2048年には1億人を割って9,913万人となり、2060年には8,674万人になるといわれています。また、65歳以上の高齢者の割合は、2010年現在の4人に1人から、2035年に3人に1人を上回り、50年後の2060年には2.5人に1人と超高齢化社会を迎えようとしています。

また、「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」によると、「介護や福祉サービス」と「高齢者向けの住宅」を重視する人が増加。身体機能が低下して介助が必要となった場合でも、自宅に留まりたい人が7割弱もいます。その一方、大都市部での独居老人が増加、孤独死などの社会問題なども発生しています。

社会保障構造の改革により、保健・医療・福祉の分野で働く我々理学療法士も大きな影響があり、平成16年1月に高齢者リハビリテーション研究会より、わが国の高齢者リハビリテーションの現状と課題、これからの見直しの方向性についてとりまとめた「高齢者のリハビリテーションのあるべき方向」が報告され、欧米にはない、急性期・回復期・維持期リハビリという日本独自のリハビリテーションサービスの流れが提唱されました。

我々理学療法士は、急性期病院や回復期リハビリテーション病院を初め、介護老人保健施設、訪問看護ステーション、介護保険事業所から、地域医療・介護を提供する事により、「人間の生き方や社会と深く関わる」仕事をしています。また、高齢者や障がい者(児)の社会参加や地域の人々がもっと元気で長生きできる社会を作れるよう、「ウェルフェア事業の参加、風船バレーボール大会、スポーツ障害予防講座の開催、小児領域地域リハビリテーション連続講座、並びに、こどもの福祉機器展(チャレンジドフェア)」等の社会活動を行っております。

「患う」は心にくしが刺さっていることを表しています。我々理学療法士は、理学療法を用いてその患者さんの機能の回復、ADLの向上のみではありません。障がいなどを持った患者さんが望む、「誰と、何処で、どの様な」生活をできる限り達成してあげるかが我々の役割で、他の職種と連携し共通する目標を持ち関わっていくことがリハビリテーションです。

組織全体の職員教育として、OJT(仕事上指導)、OFF-JT(集合研修)、SDS(自己啓発)があり、一般的に「教育の3本柱」と言われ、職員の知識、技術、態度など資質向上だけでなく、地域から信頼される組織を目指す上で重要な取り組みであります。

愛知県理学療法士会も愛知県理学療法学会と共催し、学術大会、研修会、講習会及び研究会を開催し、理学療法士の質の維持・向上に取り組んでいます。

今後とも、理学療法が科学的根拠に基づく技術として確立し、市民の健康、病気・障がいの回復、介護予防に寄与し、社会に求められるような専門職としての立場を確立していく所存であります。



第20回 国際福祉健康産業展 ウェルフェア2017

国際福祉健康産業展「ウェルフェア」は、高齢者や障がい者の生活を支援する製品やサービスを幅広く紹介する、福祉・健康産業展としては中部地区最大級の催しで、毎年ポートメッセ名古屋（名古屋市国際展示場）にて開催されています。

今回も名古屋市（名古屋国際見本市委員会）からの出展依頼を受け、5月18日（木）～5月20日（土）の3日間出展させていただきました。

今回のウェルフェア2017には、1日に2万人を超える来場者があり、3日間で73,767人の来場がありました。今回は20周年でもあり、主催企画として「生活支援ロボットブース」において、介護・生活支援ロボットなどの最新情報の提供や、熊本地震で被災した方々と企業及び団体などの復興を支援する「熊本地震復興支援ブース」が設けられて、地域企業の技術・製品サービスの展示、情報発信、出展者と来場者相互の人的交流の場が提供されていました。愛知県理学療法士会の出展ブースにおいても、3日間で686人の方に来ていただき、ブース内は子供から高齢者まで多くの方で賑わい、熊本県営業部長のくまモンも体力測定に訪れました。

出展ブースでは、「体力測定と運動・生活指導」、

および「療育・健康・介護予防等の個別相談会」を実施しました。「体力測定と運動・生活指導」では、柔軟性、筋力、バランス能力を測定し、その結果を基に、理学療法士が現在の身体機能、今後の運動・生活についての指導を行いました。参加された方々は真剣に体力測定に取り組み、指導にも熱心に耳を傾けておられました。なかには時間が足りないほどいくつもの疑問を投げかけて下さる方もみえました。「療育・健康・介護予防等の個別相談会」では、ご本人はもとよりご家族の保健・医療・福祉のことや、私たち理学療法士の職業に対することなど、ご質問いただきました。

毎年ウェルフェアに出展するたびに、来場される方々の、健康・身体能力に対する関心の高さを感じます。「体力測定と運動・生活指導」に毎年参加していただける方もおられ、“毎年楽しみしている”という声もいただきました。今後も県民の皆様にご貢献できるような公益・社会貢献事業等の活動を行っていきたくと考えております。

今回の企画に多くの方々のご協力、ご参加をいただきましてありがとうございます。心より御礼申し上げます。

愛知県介護予防推進キャンペーン 2017.7.16

今年で第4回目となる介護予防推進キャンペーンを、アピタ長久手店にて開催しました。

InBodyを用いた体成分分析は今年も好評で、個々の結果に沿った運動・生活の指導や、健康相談を行いました。参加者からは「次はいつ開催されるの?」「もっとやってもらいたい!」など嬉しいお声を頂きました。当日は、210名の方に参加して頂き、一般の方の健康や介護

予防に対する興味の高さを感じる一方で、自身の健康状態にあまり興味を持っていない方もまた多くいらっしゃる感じる場面もあり、どの様にして自身の健康や介護予防について興味を持ってもらうのか、今後の啓蒙活動についても再考していく必要性を感じました。

今後も地域での活動を通し、理学療法士を広く知って頂きながら、介護予防の輪を広げて行きたいです。

こどもの福祉機器展 ~チャレンジドフェア2017~

愛知県理学療法士会小児福祉部では、障がいのある子どもとご家族が、普通に暮らしていける地域作りの一助となれることを目標に、こどもに特化した様々な事業を行っています。主には、専門家による講演会、勉強会や、福祉機器の展示会にて、障がいのあるお子さんの支援に必要な情報提供をしています。

こどもの福祉機器展は、前回平成29年3月11日、12日に実施、2日間で1300名以上の来場者にお越しいただきました。今回は、チャレンジドフェア2018として、平成30年2月24日(土)、25日(日)にあいち健康プラザにて開催する予定です。出展企業は34社、車椅子、姿勢保持具、歩行器や、食器、エプロンなどの生活

用具、介護用食品、介護用リフト、マットレスなど、多くの展示品を出展する予定です。

また今回は、愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会と協力し、展示会期間中に「作業療法士、言語聴覚士からみた福祉機器」というテーマでセミナーを開催します。(会場内ではビデオ上映)

機器展の魅力は、いろいろなメーカーさんと直接話ができること、福祉用具が試乗・体験でき、購入の際の参考にできること、と多くの来場者から感想をいただいています。実際の福祉機器を見て、聞いて、試せるチャンスです。皆様のご来場をお待ちしております。



こどもの福祉機器展

~チャレンジドフェア2018~

見たい! 聴きたい! 試したい!



- 日時** 2018年2月24日(土)~25日(日)
10:00~16:00
- 場所** あいち健康プラザ プラザホール
愛知県知多郡東浦町森岡字源吾1-1
TEL.0562-82-0211
- 交通機関** JR大府駅西口から知多バス12分
「あいち健康プラザ」下車
知多半島道路「大府東海IC」から10分
- お問い合わせ先** 愛知県心身障害コロニーこぼと学園
リハビリテーション科 鶴飼 宏和
愛知県春日井市神屋町713-8
TEL.0568-88-0811
E-mail hirokazu_ukai@yahoo.co.jp

こどもの福祉機器展 チャレンジドフェア 2018

見たい!
聞きたい!
試したい!

● 2018年2月24日(土)~25日(日)
10:00~16:00

● あいち健康プラザ プラザホール
(住所)愛知県知多郡東浦町森岡字源吾1-1

- 恒例のチャレンジドフェア、今回はちょっと早く2月に開催!
- 出展業者30社以上! いす、車いす、歩行器はもちろん!
生活用品(炊食具)やコミュニケーション機器など盛りだくさん!
- 特別企画! 作業療法士小松則登先生(愛知県コロニー)、言語聴覚士大岡治恵先生(日本福祉大学中央福祉専門学校)の福祉機器に関する講演を会場にて放映(再放送1300名より)!
- 入場無料



● お問い合わせ
株式会社ジェネラス 生活介護 こぼと
鶴飼宏和
TEL 052-401-7280
FAX 052-401-7282
aptashouni@gmail.com

主催:公益社団法人 愛知県理学療法士会 協力:一般社団法人 愛知県作業療法士会 愛知県言語聴覚士会

地域リハビリテーション推進事業

理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士の3士会で協力しまして、介護業務従事者に向けて「摂食・嚥下」について研修会を平成28年2月25日(土)TKPガーデンシティ名古屋新幹線口にて開催させて頂きました。

介護現場における“何故そうなの?”、“どうすればいいの?”に着目して、その場で学んだことを翌日の勤務から活かすことのできる研修会を目指してお話しさせて頂きました。

施設や在宅サービスに従事される方が多数参加され、有意義な時間とすることができました。今後も現場の業務に活かすことのできる研修会の計画・実施を行っていきます。



スポーツ傷害予防教室開催

地域のスポーツ選手や、指導者、保護者の方を対象にスポーツ傷害予防事業を展開しています。毎年、春夏の愛知県高校野球大会のメディカルサポートと名古屋市、春日井市、尾張旭市、長久手市、豊橋市などの各地域でその地域のニーズに沿ったテーマでスポーツ傷害予防講座を開催しています。

毎回、多くのスポーツ選手や、指導者の方々が参加され、傷害予防の知識を学び、スポーツ現場で実践できるような内容を提供しています。



豊橋市



名古屋市

愛知県高校野球連盟支援事業

愛知県高校野球連盟支援事業は選手の障害予防を目的にメディカルサポート活動を行っています。活動内容としては、県大会準決勝以降(※夏季大会は準々決勝以降)の球場に帯同し、登板直後の投手に対するアイシングや試合後のストレッチングなどを実施しています。高校野球は連戦が続くことが多く、このような活動を通して選手の傷害を予防できるよう、愛知県高校野球連盟と連携して活動しています。



理学療法 って知っていますか？

理学療法士とは、検査、測定評価に基づき、何らかの疾病・傷害(スポーツを含む)などに起因する機能・形態障がいに対する運動療法による筋力、関節可動域、協調性といった身体機能、および温熱、水、光線、電気などの物理療法による疼痛、循環などの改善を図る治療科学です。また能力障がいが残ったとき、基

本的動作や日常生活活動を改善するための指導、そして社会生活を送る上で不利な要素を少なくするための福祉用具の選定や住宅改修・環境調整、在宅ケアなどが含まれます。近年では、生活習慣病の予防、コントロール、障がい予防も理学療法の対象になっています。

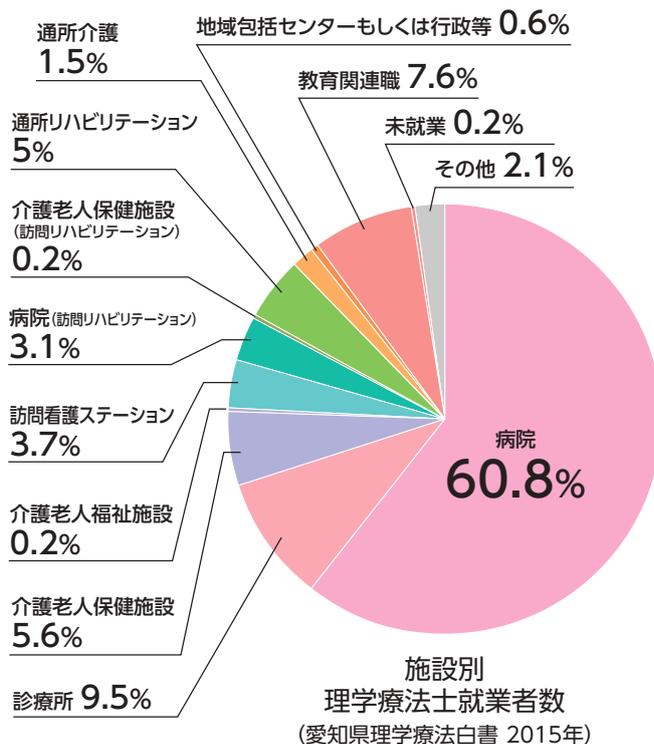
どうしたら理学療法士になれるの？



理学療法士はどのような所で働くの？

理学療法士の就職先は、大学病院・一般病院・老人病院・小児病院などの医療施設、老人保健施設や訪問PTなどの医療福祉中間施設、肢体不自由児施設や身体障がい者福祉センターなどの福祉施設、養護学校や養成校などの教育・研究施設、行政関係、スポーツ・フィットネスなどの保健関係などです。多種多様なニーズに応じて職域も拡大しています。

介護保険サービス	通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション 住宅改修・福祉用具のアドバイス
医療サービス	病院・診療所
保健サービス	機能訓練事業、保健センター 介護予防、療育相談
行政サービス	市町村、養護学校など
福祉サービス	障害者福祉センター 障害児(者)通所・入園施設
トータルヘルスプラン事業	健康管理、スポーツ



理学療法ってなんだろう？

理学療法とは、身体障がいに対し運動療法や温熱、水、電気治療などの物理療法を用いて機能の向上・改善を図る治療科学です。さらに、日常生活動作を改善するための指導や、快適な社会生活のための福祉用具、住宅環境、在宅ケアの調整なども含まれます。近年は、生活習慣予防、介護予防などの予防活動にも、積極的に取り組んでいます。

健康増進

メタボリックシンドローム、腰痛など、現代社会が抱える身体の問題に対して生活様式から運動方法まで、詳しく説明、指導することができます。



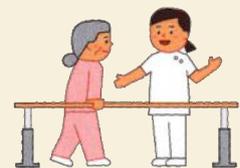
介護予防

高齢者の、身体と心をイキイキと保ち快適な生活がおくれるよう、老年症候群の予防を通して支援することができます。



機能回復

病気やケガによる障がいの評価と理学療法プログラムで、起きる、座る、立つ、歩く、といった動作や機能回復のお手伝いができます。



心身機能の向上

デイサービスやデイケアなどの通所サービスで集団・個別に心身機能の維持・向上のための運動を計画・実行できます。



社会復帰

スポーツや事故、難病などで、障がいを持つ全ての人々が、復学や復職など社会復帰のために、身体と心の両面から回復をお手伝いします。



地域リハビリテーション

様々な専門職と連携し、地域の社会資源を上手く活用し、皆さんの暮らしを創造するお手伝いをします。



自立支援

介護老人保健施設、介護老人福祉施設、身体障害者療護施設などにおいて、いつまでも、その人らしく在るための支援をします。



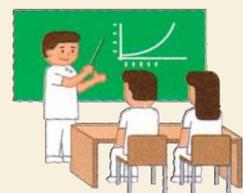
生活支援

安心・安全の暮らしを維持するために必要な日常生活動作から住環境調整まで、生活そのものを幅広くサポートできます。



研究活動

保健・医療・福祉などの分野で基礎から実践までの研究活動を推進し、「理学療法学」のより良い教育体制の構築を目指しています。



第27回 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会

THE AICHI SOCIETY FOR PHYSICAL THERAPY

愛知県理学療法学会 大会

会期

2018年3月11日(日)

大会長

横地 正裕

[医療法人三仁会あさひ病院]

会場

愛知県産業労働センター ウィンクあいち

〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-4-38

PROGRAM

- 講演1** 理学療法の未来への課題と道程—治療者として—
・山口 光國 先生 (有限会社セラ・ラボ)
- 講演2** 理学療法の未来への課題と道程—地域包括ケアの担い手として—
・松井 一人 先生 (公益社団法人日本理学療法士協会理事 有限会社ほっとリハビリシステムズ)
- 講演3** 理学療法の未来への課題と道程—教育・研究者として—
・鈴木 重行 先生 (名古屋大学大学院医学系研究科)
- 特別企画** 理学療法士の未来への課題と道程—理学療法士に期待すること—
シンポジウム
・猪田 邦雄 先生 (医療法人三仁会理事・顧問 名古屋大学名誉教授)
・丹波 ちひろ 先生 (医療法人純正会訪問看護ステーション太陽・高蔵寺管理者)
・鈴木 信行 先生 (患医ねっと代表)

シンポジウム
質問アクセス学術大会
HPアクセス

理学療法の未来への 課題と道程

— 理学療法の本質と未来予想図 part II —

大会事務局: 医療法人三仁会あさひ病院

〒456-0819 春日井市下原町字村東2090番地

主催: 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会 共催: 公益社団法人 愛知県理学療法士会

運営事務局: 株式会社 オフィス・テイクワン

〒451-0075 名古屋市中村区康生通2-26 TEL: 052-508-8510 / FAX: 052-508-8540

E-mail: apta27@cs-oto.com URL: <http://www.cs-oto.com/apta27/>

後 援: 愛知県、名古屋市、公益社団法人愛知県医師会、一般社団法人名古屋市医師会、公益社団法人愛知県看護協会、一般社団法人愛知県作業療法士会、愛知県言語聴覚士会、社会福祉法人愛知県社会福祉協議会、社会福祉法人名古屋市社会福祉協議会、一般社団法人愛知県医療法人協会、一般社団法人愛知県病院協会、中日新聞社

公益社団法人 愛知県理学療法士会

事務局 〒461-0001 愛知県名古屋市東区泉 1-12-35 1091 ビル9F

ホームページ <http://www.aichi-pt.jp> メールアドレス office@aichi-pt.jp